

# 林業福島

No. 559

題字 福島県知事 佐藤雄平



3

2011

かんしゅう■福島県農林水産部  
表紙の写真■木材の搬出



# こだま

福島県指導林家  
緑川 平 寿



森林環境学習

木材価格の低迷により、林業に対する関心が低下し、手入れのされない山林が増えてきている。

県内屈指の林業地帯を誇る田人町も例外ではなく、放置林や植林されず「ヤブ山」となっている伐採跡地が増加している。

そんな山中に、子供達の声がこだまする。「危ないよお：倒れるよ、気をつけて。」

ここは森林環境税を利用したいわき市立田人中学校と湯本第三中学校合同での森林環境学習除伐体験現場だ。現地は田人中学校の学校林で、二三年前当時の生徒達が植林し育ててきた松の林である。

山村の子供達ばかりでなく、森林と関わりの少ない街の子供達にも森林の現実と必要性を理解してもらおうと、平成一八年より五年間にわたって実施している。二つの学校の生徒六〇名が入り混じり協力し合い作業をしている。危険が伴う作業なので、先生一〇名、田人林業研究会より六名の指導者が参加している。

この森林環境学習事業には三つの大きな目的がある。  
一つ目は、木材資源としての再認識を計ること。木材は建築部材ばかりでなく、チップ、ペレット及び火力発電所用燃料、家畜の敷料など余すことなく〇〇割利用出来るし、再造林することにより永久的に資源として利用できる。

二つ目は、環境林として地球温暖化防止や水資源のかん養等、数えきれないほどの公益機能をもたらしていることから、森林・林業の重要性を知ってもらうこと。

そして三つ目は、山村と市街地の子供達が一堂に会し、森林づくりという一つの目標に向かって汗を流し、語り合うことで絆が深まることである。

後日、湯本第三中学校の生徒から礼状が届く。その中に「日本の森林四〇割が人工林ということを知った。以前から天然林や人工林について興味を持っていたが、思ったより人工林が少ないことに驚きました。」また「森林の働き、そして森林の大切さについてプロの方から生の声を頂くことが出来たことは、将来私達がこれから創るときヒントになると思う、私は緑川さん達から『環境のバトン』を受け取り継いでいきたいと思っています。」等々、数多くの意見が寄せられ、子供達も環境問題について大きな関心を持つことがわかった。

将来、私達や子供達が快適な自然環境の中で生活が出来るように、最大限の努力をしなければならぬ時期が来ているのではないだろうか。

## 《も く じ》

とびら

こ だ ま

福島県指導林家 緑川 平寿…… 1

森林環境税を活用した森林づくり

～森林環境基金事業の成果～…… 2～4

「緑の募金」協力のお願…… 4

林業研究センターだより

会津産スギ材に関する試験研究について… 5～6

森林文化シリーズ

手漉き和紙の里 上川崎…………… 7

普及指導員通信…………… 8

木材市況・ふくしま東西南北…………… 9

森連だより…………… 10

林協ニュース…………… 11

林研コーナー…………… 12

はなしのひろば…………… 13

# 森林環境税を活用した森林づくり ～森林環境基金事業の成果～

## 県森林計画課

県では、平成一八～二二年度を課税期間とする森林環境税を財源として、「森林環境の保全」と「森林を守り育てる意識の醸成」に取り組みできました。

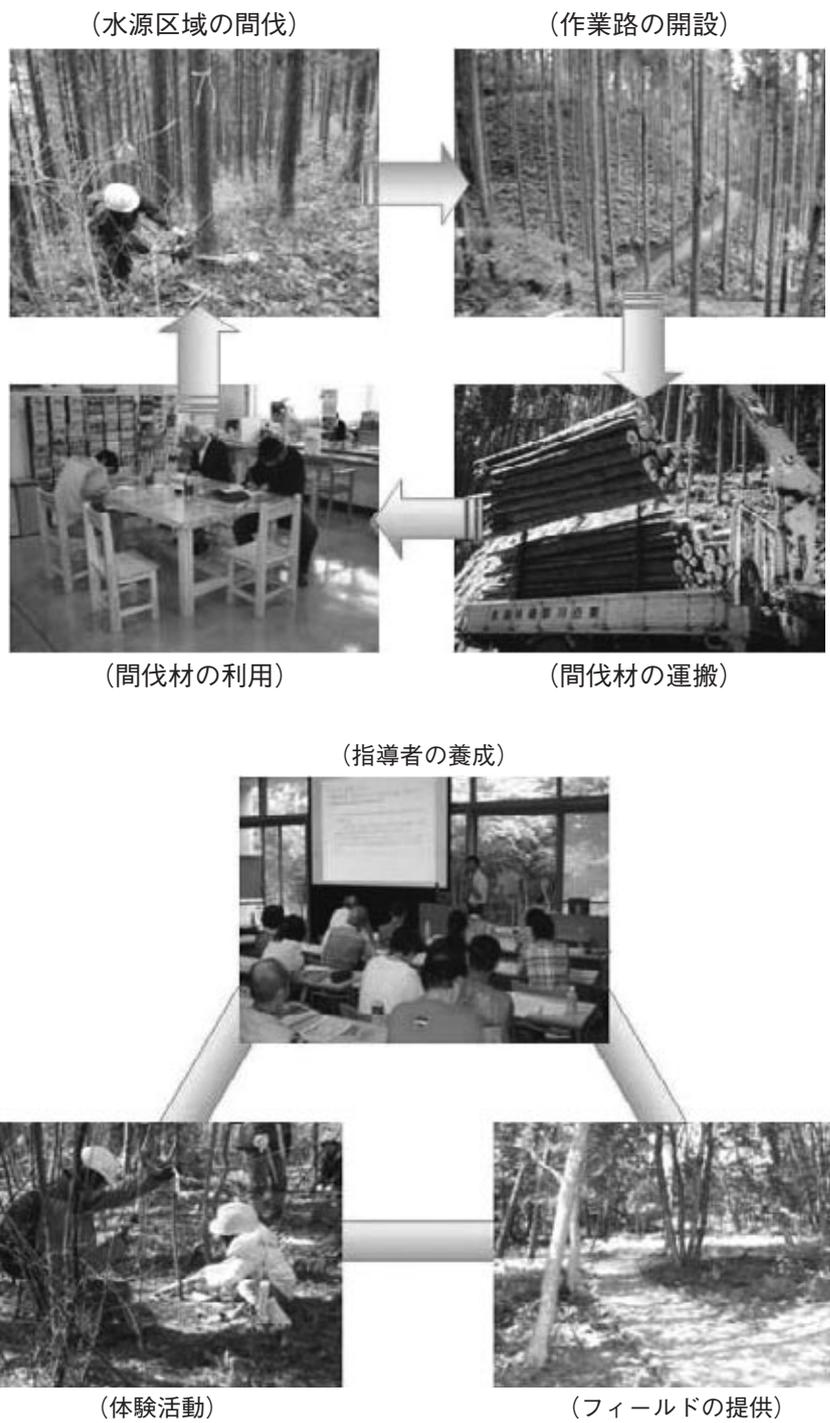
### ◆森林環境の保全

豊かな森林を県民共有の財産として保全し、健全な状態で次世代に引き継ぐため、私達の飲み水の供給源である「水源区域」の森林を重点的に整備するとともに、間伐材の搬出・利用を支援することで、森林資源の再生産を進める循環型社会の構築を図りました。

### ◆森林を守り育てる意識の醸成

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを目指して、すべての市町村が森林環境学習に取り組んだほか、指導者の養成や森林環境セミナーの開催などにより、県民意識の醸成を図りました。

主たる取組みにおける五年間の事業成果について、紹介します。



## 森林整備

### ◆県営事業

「水源区域」のうち、特に手入れが行われず荒廃が懸念される私有林において、県が一五年間の協定を締結し、森林所有者に代わって間伐等の森林整備を実施しました。

【整備目標】 九、〇〇〇畝  
【実績見込み】 九、二二二畝

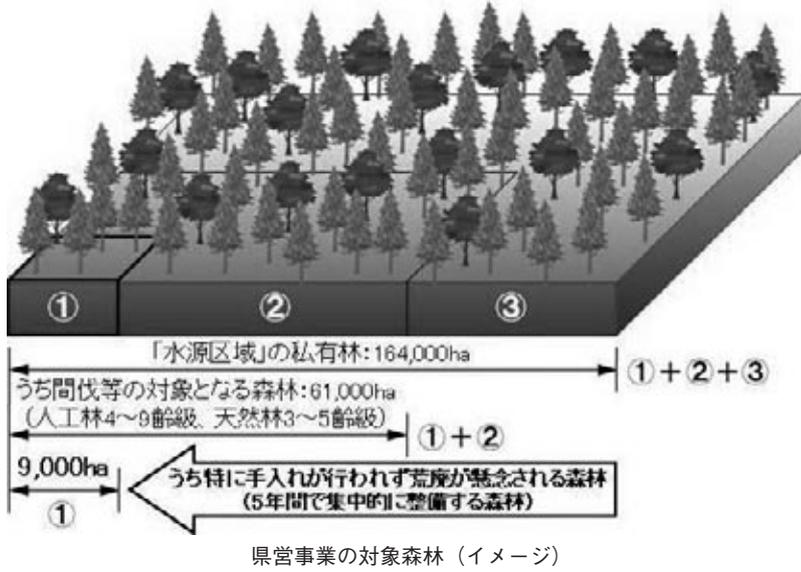
### ◆補助事業

「水源区域」のうち、特に手入れが行われず荒廃が懸念される私有林等において、平成一九年度から、森林所有者が実施する間伐に対して従来よりも高率な補助を行いました。

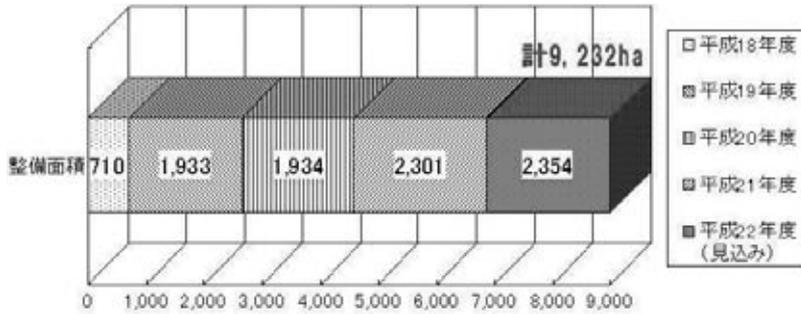
【整備目標】 年間一、三〇〇畝程度  
【実績見込み】 五、八六六畝

## 間伐材の利用促進

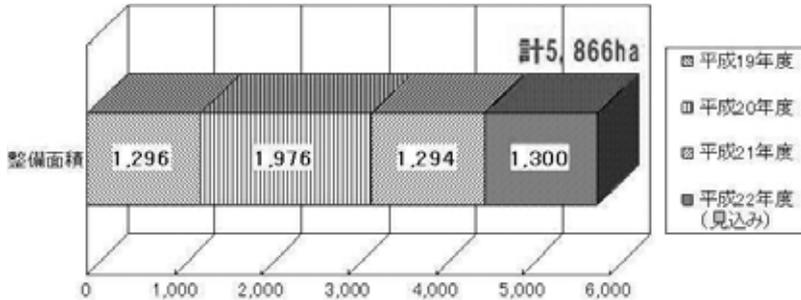
間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路等の整備や、公共施設への木製品の利用、また、木質バイオマスの利用などに取り組みました。



### ◆県営事業



### ◆補助事業



### ◆公共施設への利用

(一) 福島空港ビル「休憩所」  
(玉川村)

(二) 太陽の国さつき荘「内装」  
(西郷村)

など

### ◆製品への利用

三九施設（文化施設、県立高校、駅、バス停、病院など）

### ◆ペレットストーブの導入

二〇七台

※県有施設（二五台）、民間施設等

（一八二台）



太陽の国さつき荘「内装木質化」

## 市町村への交付金

森林づくりへの県民参画を効果的に推進するため、市町村が創意工夫を凝らした事業を展開できるよう、全国初の試みとして、森林環境税の一部を交付する制度を設けました。

### ◆地域提案重点枠

市町村が地域性を生かして重点的に取り組む事業を支援しました。

#### 【森林整備】

- (一) 森林ボランティア活動や森林環境学習等のフィールド整備の支援
- (二) 道路沿線の森林景観整備

- (三) 野生動物との共生を図る森林整備など

#### 【間伐材の利用】

市町村有施設の内装木質化等  
【ペレットストーブの導入】

一六三台（市町村有施設等）

#### ◆森林環境基本枠

森林づくりへの意識醸成を図るため、全ての市町村に交付しました。

#### 【森林環境学習】

五三三校（全小中学校の約七割）

※小学校（四〇三校）

中学校（二三〇校）

## 結びに

去る一二月定例県議会において、森林環境税の五年間（平成二二～二七年度）の延長が決定されました。今後とも、森林環境税のより効果的な活用に努めてまいりますので、引き続き、事業への御理解と御協力をお願いいたします。



道の駅そうま【休憩所】



## 緑の募金

# 「緑の募金」協力をお願い

## 春の緑の募金活動が4月1日～5月31日に行われます

美しい緑の国、日本。  
そして我がふるさと福島。

きれいな空気、おいしい水、心や身体の癒し、自然災害を防ぎ、地球温暖化の防止など、森林は、豊かな生活を支え、多くの恵みを与えてくれます。

しかし、いま国内では手入れ不足等によって森林が荒れ、本来のはたらきを發揮できていません。

そのため、森林を整備したり、緑を増やすことを農山村の人々や専門家に任せておくだけでなく、一人ひとりが、それぞれの立場で可能な方法で、森づくりへ参加することが期待されています。

特に、家庭や学校、職場での「緑の募金」へのご協力は、大きな力になっております。

緑の募金は、緑化や植樹活動、森林ボランティアや「緑の少年団」活動の支援等に活用しております。

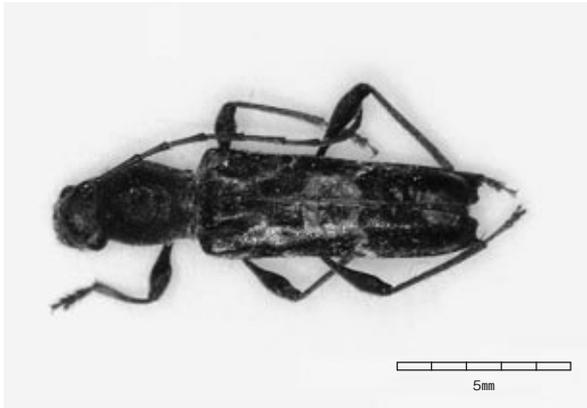
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

（福島県緑化推進委員会）



会津・南会津地方では、スギノアカネトラカミキリの穿孔によるスギ材の変色・腐朽(通称「トビクサレ」)の現象が見られることがあり、会津産スギ材の材価を下げる要因の一つになっています。

そこで、地域からの要望を受け、当センターでは工務店等での利用も視野に入れ、この利用選別基準と利活用技術を開発し、会津産スギ材の利用推進を図ることを目的に、今年度(平成二二年度)から五カ年計画で会津産スギ材に関する試験研究に取り組んでいます。



スギノアカネトラカミキリ (成虫)

## I はじめに

今回は、今年度実施した試験内容、今後の計画等について紹介します。

林業研究センターだより

# 会津産スギ材に関する 試験研究について



スギノアカネトラカミキリによる食害・変色

県林業研究センター林産資源部 主任研究員

## 村 上 香

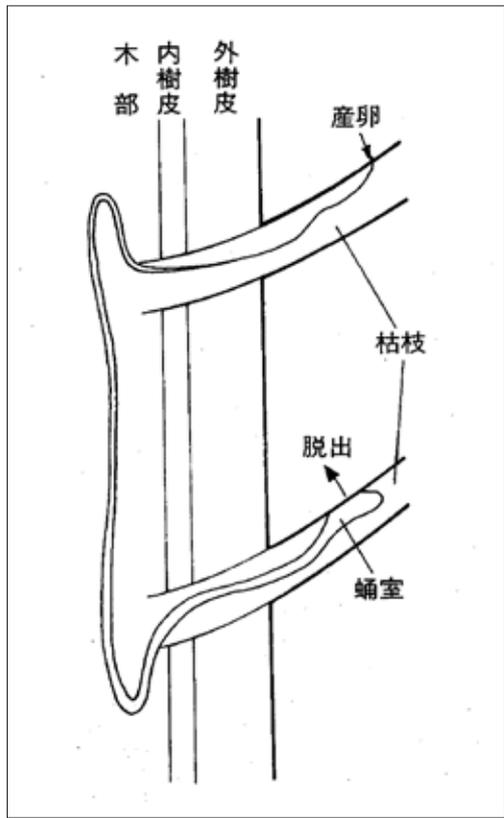


図1 加害模式図(林業改良普及双書92「スギ・ヒノキの穿孔性害虫」小林富士雄著より)

アカネトラカミキリの一種であるスギノアカネトラカミキリの幼虫が材を食害することによって引き起こされる変色・腐朽のことを「トビクサレ」と呼びます。

スギノアカネトラカミキリの成虫は、主として枯れ枝に産卵し、ふ化した幼虫は枯れ枝内を食い進み、樹幹部に達し、幹内部を食害します。

その後、再び枯れ枝に戻り、蛹を経て成虫となり、枯れ枝から脱出します。成虫になるまでに早くも二年、寒冷地地方では四〜五年かかるとされ

調査本数は一箇所あたり五〇本とし、伐倒・玉切り(二日間隔)した材の木口面を観察し、孔道(虫が食害した穴)・変色・腐朽の有無を調査しました。結果の詳細は現在とり

## II スギノアカネトラカミキリの被害「トビクサレ」とは?

## III 今年度実施した試験内容

1 施業(枝打ち)履歴の違いによる被害状況調査

会津・南会津地方の切り捨て間伐を行う森林を対象とし、枝打ちの施業履歴が残っている森林三箇所と履歴が残っていない森林二箇所について、現地調査を行いました。

ています。

表1 被害材の小試験体による縦圧縮試験

種類		年輪幅 (mm)	含水率 (%)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	縦圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )
変色部 (n=29)	平均値	3.0	14.0	0.43	34.5
	標準偏差	1.0	0.6	0.06	5.4
	変動係数	0.3	0.0	0.1	0.2
	最小値	1.7	13.4	0.34	26.1
	最大値	6.5	15.2	0.52	46.7
健全部 (n=15)	平均値	3.7	13.6	0.41	33.7
	標準偏差	2.0	0.5	0.05	5.2
	変動係数	0.5	0.0	0.1	0.2
	最小値	1.8	12.8	0.34	24.7
	最大値	7.3	14.8	0.49	43.2



縦圧縮強度試験状況

まとめの段階となっております。

## 2 被害材の小試験体による縦圧縮強度試験

平成二二年度に予備試験的に実大強度試験を実施した材の破壊していない部分から、節・割れ・その他著しい繊維の乱れを含まない試験片（寸法基準：二〇ミリメートル×二〇ミリメートル×四〇ミリメートル）を作成しました。試験片は変色部と健全部の二種類とし、変色部については全表面に変色が認められるものとなりました。

試験はJIS Z 2101「木材の試験方法」に準じて実施し、試験結

果から縦圧縮強さを算出しました。

試験結果は表一のとおりです。縦圧縮強さの平均においては、変色部と健全部とは有意な差は認められませんでした。このことから、木材に変色をきたす程度の被害であれば特に強度性能が低下しているとは言えないものと思われませんが、今後更に検証を進めていきます。

## IV 今後の計画

まず、枝打ちの施業履歴の違いによる被害状況調査のデータをとりまとめ、施業履歴と変色被害等の発生状況との関連性について確認します。

また、目視等による被害判定と製材品の関係把握、木取りパターン別歩留まりを検討するため、被害材を円板加工し、円板の木口面に現れた変色面積及び変色位置、孔道の長さ・幅を測定し、材内の被害分布状況を詳細に調査します。

さらに、被害状況による強度性能評価を行うため、今後は実大材を用いた強度試験（めり込み強度試験等）を実施していきたいと考えています。

そして、最終的には被害材の有効な活用技術を開発していきたいと思えます。

## V おわりに

話は多少変わりますが、現在、通常では材を切断しない限り、材内部の被害の有無を確認することはできません。

そこで、本試験研究と平行して、ハイテクプラザ会津等にご協力いただき、画像解析により材を切断することなく、材内部の被害の有無、あるいは被害の存在位置、大きさを把握する方法を検討しています。

今後、一定の成果が得られましたら、別の機会を捉えて紹介したいと思います。

本試験研究を進めるに当たっては、会津・南会津の各農林事務所を始め、会津・南会津支部の各森林組合、木材業者、ハイテクプラザ会津等、関係者の皆様には多大なるご協力をいただいております。この場をお借りして感謝申し上げますとともに、会津産スギ材の利用推進に向け、今回スタートした本試験研究の取り組みに対し、今後ともご指導、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

シリーズ

—手漉き和紙の里

上川崎—



美しい水を満々とたたえる阿武隈川のほとりに、一、〇〇〇年以上の伝統を受け継ぐ手漉き和紙の里、上川崎がある。

かつて、三〇〇戸以上の紙漉き農家があった上川崎も、今ではごく数軒のみ。伝統ある技を代々受継ぎ、守っていくため二本松市「道の駅安達」構内に「和紙伝承館」が建てられて一〇年になる。ここで紙を漉く職人の佐藤旭さんを訪ねた。

紙漉きは寒漉きとも呼ばれ、冬の寒い時期に漉いたものが一番とされる。水が清く、雑菌の繁殖が少ないため上質の和紙となるのだ。



手際良く漉いていく佐藤さん



この状態になるまでが大変



さまざまな用途で愛される和紙

まず紙漉きは、紙料をそろえるところからはじまる。主な原料の楮(コウゾ)は、寒さに強く福島の氣候に適している。長さを切りそろえ、大釜で蒸気で蒸し、皮を剥ぐ(カズハギ)。乾燥させて外皮を取り除き(カズヒキ)、一晩水に浸して丁寧に水洗いをして不純物を取り除く(カズヒタシ)。釜に水とソーダ灰を入れ二、三時間煮て蒸らす(カズニ：工程の中でもっとも経験が必要な作業)

煮上げた楮皮を再び水に浸して、繊維やスジなどを取り除く

(カズダシ：長時間水辺に座って行う辛い作業)。最後に、ピーター機や打盤機という機械で繊維を細かく打ち砕く(カズブチ)。こういった下仕事があつてやっと紙が漉けるのだ。

漉き舟の中に、紙料と補助材料のトロアオイ(ネリ)を入れてよくかきまぜる。これには、繊維と繊維をつなぎ止め、乾燥すると剥がれやすくなる性質がある。

簀笥(すげ)で一気にその水をすくい、全体に流し入れる。この時くみ上げた水を「化粧水」という。次に、やや深くくみ上げ、厚さを調整し、目的の厚さになったところで残りの水に向こう側からポンと小気味のいい音をさせて捨てる。この水を「捨て水」といい、技術がいる作業で、この音を出すまでが

難しく「水切り三年」と言われているのだ。

佐藤さんは手際良く、いとも簡単に一枚、一枚、心地良い音を響かせながら漉いていく。そばで見ていると、とても簡単そうで体験させてもらったが、素人

にはやはり困難極まりなかった。漉きあげた紙は、紙床台に垂直に重ねていくのだがこれも至難の業である。そして、これを圧搾機で徐々に水切りをしていく(カッタシボリ)。よく絞られた紙は、丁寧に剥がして乾燥させる。昔は干し板に張って乾燥させていたので、あちこちの家の前に和紙の白く輝く光景が見られたそう。

現在、県内で和紙が作られているのは、上川崎のほかに、いわき市の上遠野和紙、郡山市の海老根和紙、梁川町の山舟生和紙、柳津町の柳津和紙などである。

かつて和紙は、私たちの暮らしの中にあたり前のようにあったが、戦後の製紙業の変革で、洋紙産業の機械技術が進み、生活様式も大きく変化したことから需要が激減した。

しかし今、独特の質感と温もり、素材がかつ丈夫な和紙に新たな魅力を感じる人が増えている。最近では包装紙や壁紙、バッグや財布といった小物や装飾品、ランプシェードなどのインテリアにまで発展している。日本文化の代表とも言える和紙は、時代とともに形を変えながら、暮らしの中に自然の恵みを取り入れ、私たちの心を癒し続けてくれている。

— 普及指導員通信 —

■ 県北農林事務所  
林業普及指導員 佐藤 秀樹

民有林と国有林が連携強化～笹森山地区森林整備推進協定を締結～

平成23年2月25日、福島市松川町水原地区と二本松市洪川地区の一部を対象として民有林と国有林の関係者がより一層連携・協力して効率的な森林整備を推進するため、「笹森山地区森林整備推進協定書」の調印式を実施しました。協定を締結したのは、県北農林事務所、福島県林業公社、福島県北森林組合、水原生産森林組合、森林整備センター、福島森林管理署の6者で、今後、運営会議を開催しながら、効率的な森林整備及び安定的な森林経営の基盤づくりと、間伐材の利用促進を図ることとしています。

当協定は、国が策定した「森林・林業再生プラン」（平成21年12月25日策定）の実現に向け、県と関東森林管理局が締結した「豊かな森林づくりに関する覚書」（平成23年2月21日締結）を踏まえて締結したもので、笹森山地区森林共同施業団地（1,408ha）において、施業地の集約化や低コスト施業を民有林と国有林が連携して推進することにより、平成27年3月までに572haの森林整備と3,980mの路網整備を行うこととしています。

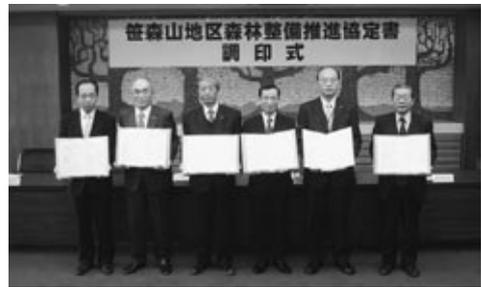
地元、水原生産森林組合では、地域林業の推進と森林の適正な管理につながるものと期待しており、当事務所においても、関係者の協力の下、森林経営計画の作成促進など新たな造林制度にいち早く対応できるよう普及活動に努める考えです。



協定箇所位置図



関係者による検討状況



調印式の記念撮影

■ 会津農林事務所  
林業普及指導員 平野 浩一

地域連携森林環境学習での取り組み

平成18年度から始まった森林環境基金事業も今年で第1期の最終年度を迎えますが、今年度県立会津養護学校で行った取り組みについて紹介します。

県立会津養護学校高等部では、作業学習の中で農芸作業を取上げ、主に野菜や花の栽培等を行っています。近隣の公園等から落ち葉を集めて堆肥作りをし、野菜栽培等に活用するなど、自らが作り育てる喜びと自然循環について学ぶための学習活動を進めています。その一環として、今年度、森を育てる心の育成と自然循環についての学習を樹木ときのこの栽培を軸に取り組むこととなりました。

研修内容は、郡山市の林業研究センターときのご振興センターでの現地視察と、会津養護学校校内の畑で、サクラ等の挿し木とマイタケ原木の伏せ込みの実習を行いました。

挿し木については隣接する会津大学構内にあるサクラを増殖したいとの要望がありましたが、サクラの挿し木は技術的にも難しいことから、林業研究センターの渡邊専門研究員に指導を依頼し研修を行いました。実習ではサクラだけでなく校内にあるアジサイやドウ

ダンツツジなど発根の期待の高い樹種の挿し木も行いました。結果、サクラについては100本ほど挿した中、発根したのは1本だけでしたが、技術的な難しさを感じるとともに発根した1本への愛着が高まっていたようでした。マイタケ原木の伏せ込み作業のなかでは、白くまん延したフワフワの菌に触るのが気持ち悪いなどと言っていた生徒もいましたが、日頃から行っている土いじりの農芸作業とは違った初めて体験する実習に大変興味を持って行っていたようです。

当初、会津養護学校から研修指導の依頼があったときは養護学校の生徒に対しどのように接し指導していったらいいのか不安もありましたが、先生方のサポートもあり研修はスムーズに進みました。

先生方からは今回の研修を機会に、農業作物栽培だけでなく樹木の育成やきのこ栽培の実習を通じて、森林との関わりと重要性の理解を深めるよう当該実習を継続して行っていきたいとの話がありました。森への理解を深めるきっかけづくりの裾野が広がったことは森林環境基金事業の大きな成果であったと思います。



さし穂作り



マイタケ原木伏せ込み



## 素材の価格〈工場着価格〉(12月15日現在)

(単位: m<sup>3</sup>当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8 (8~9)	0	9 (9~9)	0	8 (6~10)	1	8 (6~10)	0
		10~13		並	スギ	12 (11~14)	0	9 (8~9)	0	10 (8~12)	1	10 (8~14)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	15 (13~17)	1	11 (11~12)	0	13 (12~14)	0	13 (11~17)	0
				並	ヒノキ	23 (22~24)	3	(0~0)	-	19 (17~21)	0	21 (17~24)	1
		6.00	並	スギ	20 (17~22)	0	18 (18~18)	0	17 (16~17)	1	18 (16~22)	0	
			並	ヒノキ	24 (24~24)	0	(0~0)	-	24 (22~27)	0	24 (22~27)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	15 (14~17)	0	12 (11~12)	0	14 (12~15)	1	14 (11~17)	1	
		4.00	並	アカマツ	11 (9~13)	0	10 (10~10)	0	11 (10~12)	0	11 (9~13)	0	
		1.80	並	スギ	8 (6~10)	0	(0~0)	-	8 (7~9)	0	8 (6~10)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	23 (23~23)	1	(0~0)	-	24 (24~25)	0	24 (23~25)	0
並				米マツ	25 (23~28)	0	26 (26~26)	0	25 (25~25)	0	25 (23~28)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	-	(0~0)	-	23 (21~25)	0	23 (21~25)	0	
			並	ベニマツ	27 (27~27)	0	22 (22~22)	0	22 (22~22)	1	24 (22~27)	1	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
			並	アガチス	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	-	(0~0)	-	6 (6~6)	0	6 (6~6)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	-	(0~0)	-	6 (6~6)	0	6 (6~6)	0	

一二月の価格については、国産材を中心に引き続き値上がり傾向にあり、強気配である。

一月の原木市場への入荷状況は、価格上昇にもかかわらず、前月比四割減(前年比一八割増)の二六、六二〇立法材となっている。販売量については、引き合いが強く、前月比で六割減ではあるが、入荷量を上回る二六、七二四立法材(前年比一八割増)となっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	8 (7~8)	0	9 (8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	7 (7~8)	0	8 (7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	9 (8~10)	0	11 (10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均的価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

この春、福島市に県産材で建てた集会所が三棟完成する。鳥谷野集会所、南向台集会所、向瀬上集会所である。県産材の振興を図るため、森林整備加速化・林業再生基金事業で整備を進めているもので、鳥谷野集会所は、五五立方(〇・二三立方/平方)で、南向台集会所は八八立方(〇・二三立方/平方)で、向瀬上集会所は二五立方(〇・二四立方/平方)の県産材を使用している。どの施設も福島県で建てられている一般住宅の木材使用量(〇・一八立方/平方)を大きく上回っており、施工会社の担当者もこれだけの木材を使用した建物は、今までに施工しなかったと言っただけの木造建物である。木材という人間にとって心休まる自然素材で、それも県産材という私達の身近なところで生育した樹木で造られた集会所は、地域住民に満足感と愛着を与えてくれるものと思う。確かに、清々しい木の香りに満ちた空間の中で、製材品に記された規格や顧客名、がっしりと組上がった構造を目の当たりにしたとき、地域の方々は、満足げな顔をしていたことを覚えている。

三月末、三つの集会所施設が完成する。地域の林業家、製材所、建築士、大工・工務店が一体となって建てた集会所施設を多くの方々に見ていただき、県産材の良さ、そして県産材を使用した建物の安心



## 県産材で造った集会所施設が完成!

福島県北農林事務所 林業課長 佐藤 秀樹

感を実感していただきたい。今、県内の人工林は、その多くが利用可能な林齢に達しつつあり、建築材としての出番を待っている。今後、県産材の生産・流通と施工体制の整備を進め、以前の様に地元材を使用した建物がスタンダードとなるよう関係者が連携し取り組んでいきたいと思っている。

三つの集会所施設が完成し、多くの住民が訪れ、どのような感想を抱くのか楽しみである。未永く住民に愛される空間であってほしいと願う。

鳥谷野集会所…国道四号南バイパス、カワチ東側(鹿島神社の裏手)  
 南向台集会所…南向台の西端(福島市内を一望でき、夜景は最高)  
 向瀬上集会所…阿武隈急行向瀬上駅から南へ徒歩五分



鳥谷野集会所上棟式 (H23. 1. 9)

団体のページ

森連だより

「ふるさと森林相談会」  
平成22年度の  
取り組みについて



不在村森林所有者に対しダイレク  
トメールを送付の上、直接会って、  
間伐等の施業や森林管理の委託等の  
働きかけを行う「ふるさと森林相談  
会」を福島県森連主催で、平成二二  
年一〇月二三日(土)・二四日(日)の  
二日間、福島県林業研究センターに  
おいて開催しました。また、全森連  
主催で、平成二三年一月二八日(金)、  
東京都立産業貿易センターにおいて  
開催された相談会にも参加しました。  
二二年度はこの二箇所重点を置い  
た取り組みとなりました。

福島県林業研究センターでは第三  
五回福島県林業祭の関連行事として  
同センター研修寮において福島県下  
の一〇森林組合とともに、森林組合  
相談コーナーと、福島県司法書士会  
による相談コーナーを開設いたしま  
した。

また、東京都立産業貿易センター

では、福島県下の二森林組合をはじ  
めとし、各都道府県より五一森林組  
合の相談コーナーが開設されました。  
同じ会場内に、福島県司法書士会  
や全国司法書士会との連携事業とし  
て司法書士相談コーナーを開設し、  
司法書士による相続や登記に関する  
無料相談会も開催しました。

相談会では、福島で一三人、東京  
では六人の来場者があり所有山林の  
位置や現況の確認、保育作業の依頼  
などの相談に応じました。

森林組合では提案型施業集約化事  
業に取り組んでいます。これは小規  
模形態の私有林でも集約化(団地  
化)することで、有利な森林整備を  
継続して行うことにより、原木の安  
定供給体制を図っていくことを目指  
しております。(ある区域の山林を  
一つのエリアとして、その中の山林  
について個別に、経費や収益の見積

りをして森林所有者に提案し、エリ  
ア全体の森林を整備することを目的  
としています。そのためには、低コ  
ストで将来にわたり壊れにくい作業  
路を開設し、間伐材・パルプ材の搬  
出、山林の維持管理を進めていくこ  
とが必要となります。)

山林の相続登記物件の位置や境界  
がわからない場合、森林の手入れも  
できず団地化も進みません。

県内の森林整備を進める上で「ふ  
るさと森林相談会」を継続して開催  
することが重要になりますので、こ  
れからも「ふるさと森林相談会」や  
森林組合のことを広くPRし続ける  
ことが大事であると参加者全員で再



東京都立産業貿易センターにて



福島県林業研究センターにて



確認して相談会を終了しました。

林協ニュース

森林土木セミナーを開催しました!!



講義する打矢氏



熱心な受講者で会場がうまる

当協会では、平成二三年二月二日、福島市の福島県建設センターにおいて、第一三回森林土木セミナーを開催いたしました。

このセミナーは、森林林業の振興と、国土の保全や森林環境等に寄与するための新しい時代の県土づくりを担う人材育成を目的とし、平成九年より開催しています。



プログラム(技術者教育支援制度)として実施したことから、県、市町村、森林組合、森林土木業者、コンサルタント業者など、会員以外も含め、森林土木事業の担当者約一〇名の参加を得ました。

はじめに、渡辺卓治専務理事が主催者挨拶を述べ、講義に入りました。まず「総合評価落札方式の動向と対応」と題して(株)コンピュータシステム研究所・打矢一春課長代理による講義が行われました。

入札制度の改革によって、総合評価方式の導入で求められる技術力評価にもなう施工計画書作成、事故による工事成績への影響、総合評価での対応といった内容でした。つづいて、磐城林業協同組合、平子作磨理事長より「災害防止のためのリスクアセスメント(作業がどれくらい危険かをランクづけて事前に評価すること)」について講義が行われました。「労働安全衛生マネジメントシステム」がさまざまな業種で導入され、中でも「リスクアセスメント」が労働災害防止に効果を上げていくことから、林業にも導入し、「危険をよみ、災害の芽をつむ」ために取り組むことが大事だと話されました。

その後、県森林計画課・加藤政樹主幹より「今後の森林整備の取組みについて」の講義が行われ、つづいて、県治山対策課・橋内雅敏主幹兼副課長より「平成二三年度森土木事業の動向について」の講義が行われました。最後に、県林道整備課・桃井栄一主幹兼副課長より「作業道の重点的な整備について」の講義が行われました。昨年一月に森林林業の再生に向けた改革が取りまとめられたことから、具体的な政策内容等があげられました。

参加者は皆、熱心に聴講していました。



- ◇平成22年度林業改良普及双書 3冊1組2,400円 単本 950円
  - No.166 普及パワーの施業集約化 林業普及指導員+全林協編著
  - No.167 木質エネルギービジネスの展望 熊崎 実著
  - No.168 獣害対策最前線 全国林業改良普及協会編

- ◇「林業再生の決め手! 生産性を向上させる80カ条」 坪野克彦編著 定価1,995円
- ◇「刈払機安全作業ガイドー基本と実践ー」 石垣正喜著 定価2,100円

- ◇「続・林業GPS徹底活用術 応用編」 全国林業改良普及協会編 定価2,100円
- ◇「鋸谷式間伐なるほどQ&A 実践編 森林の健全度を高めよう」 鋸谷 茂編著 定価1,575円

■発行: 社団法人全国林業改良普及協会  
 ■お申込: 社団法人福島県林業協会  
 〒960-8043 福島市中町5-18  
 TEL024-521-3245 FAX024-521-3246

林研コーナー

全国林業グループ  
コンクール等開催!



農林水産大臣賞を受賞した南三陸町山の会



総会の様子

三月一日、東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターにて全国林業グループコンクールが開催されました。  
自主的に地域の振興・活性化を図っている林業グループを全国的に取り上げ、相互に意見を交換し、より発展・向上を図り、林業グループのリーダー育成を目的として開催されています。

「平成二二年度地域林業グループコンクール」の審査により選出された六グループが、日頃の活動内容や成果を発表しました。審査の結果、今年度の農林水産大臣賞は、東北・北海道ブロック代表の南三陸町山の会(宮城県)が受賞しました。  
そして、全国林業研究グループ連絡協議会田中惣次顧問により「林業シン時代」―森の力・東京の森ととも



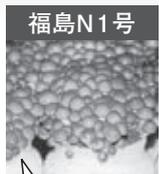
に四〇〇年―と題した講演が行われました。  
二日には、全国林業研究グループ連絡協議会第五二回通常総会が行われました。全国林業グループコンクールの入賞グ

ループの表彰及び、当協議会の蛭田一会長をはじめとする永年功労者に感謝状が贈呈されました。  
議事では、一般社団法人林業人材育成支援普及センターへの入会について、平成二二年度事業(中間)報告及び収支決算(見込)、平成二二年度事業計画及び収支予算が審議され承認されました。

県林研グループ連絡協議会第一〇回通常総会が二月三日、郡山の林業研究センターにて行われました。議事では、平成二二年度決算報告、平成二二年度事業報告及び収支決算報告(見込)、平成二二年度事業計画及び収支予算(案)が審議され、承認されました。  
第一四回「はつらつ」林業女性交流会が、一月二五・二六日、東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。本県からは坂本春香さん(NPO法人いわきの森に親しむ会)が参加しました。  
また、平成二二年度全国林業女性学習の集いが、三月九日(一〇日)に東京都の南青山会館及びびよみうりホールで開催されました。本県からは菅野和子さん(女神山を愛する会)、猪村珠紀さん(NPO法人いわきの森に親しむ会)が参加しました。

きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)



安定多収量



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富



○その他各種種菌

- 菌床
  - ・シイタケ
  - ・ハタケシメジ
  - ・ムラサキシメジ等

- マイタケホダ木
- 栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926  
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org



## 最近気になること

窓越しのスイセンの花が、雛人形の飾られた部屋に梅の香を添え春を告げている。三月は入・進学や転勤など大異動の季節で、人間社会だけで無く野山の動物界も活動期に入る。

私のように町内会などの幹部は役員会や総会のため、昼夜を問わず多忙な日々が続く。ところで、趣味や町内会活動に忙殺されていたところ、突然友人から「お伺いしたい」と連絡を受け、友人達との距離を置いて狭い世界で過ごしてきた自分を発見して愕然とした。彼とは一〇年前前に同じ職場で机を並べた仲で、突然の再会ながら話題は尽きなかった。受話器を手にした時、懐かしさで震えるほどだった。用件は、定年退職の挨拶と外国旅行の土産話をしに来たのである。彼は私より年齢では一回り下だが、酒量は彼が横綱で私が大関格だった。彼は豪放磊落な性格で年齢差を感じない大切な親友の一人である。

彼は私の家族とも親交があり、話題は家族の近況から国外旅行、最後は林業情勢にまで話が弾み、屈託の無い会話は私の頭や胸の中にあつた雑念を一気に吹き飛ばしてくれた。彼は根っからの林業人で、山造りに情熱を持ち続ける熱血の仕事人でもある。そんな彼とは心が通じ、居酒屋で肩を並べる事もあり、酒の肴はいつも仕事の話だった。酔っても崩れない二人は居酒屋でも歓迎されたし、二日酔いで仕事に穴を空ける事は全く無かった。

彼との話で、国により、間伐促進のため森林所有者に代わり、森林組合が間伐を進める事になるらしいと話した時、彼は急に真顔になった。林業に追い風は吹いているが、造林地を抱える組織体は林業の長期低迷による資金面と収穫時の採算の問題もあつて、職員が事業推進の提案をしても、上司からゴーサインを得るのは大変だったと述懐する姿が痛々しかった。

各県は、国策の造林推進と健全な森林の造成のため、森林所有者や市町村、森林組合等と連携して努めたが、生育途上の人工造林地が荒れ、森林の公益的機能を高めるため、国が制度を整備し、資金を投じて間伐促進を図るが、造林地を抱える組織体への指導強化と事業の受け皿となる森林組合や造林事業体の組織強化が最優先の課題と思われる。

佐藤微風

## 表紙の横顔



### 木材の搬出

第7回ふくしま森林・林業写真コンクールで佳作となった佐藤源策さん(郡山市)の作品。

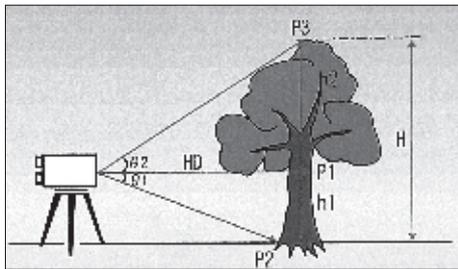
### 編集

### 発行人

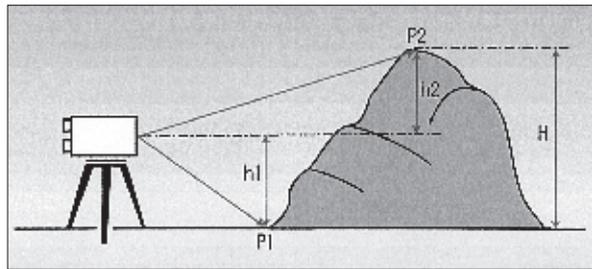
福島県内四森林管理署  
 福島県林業協会  
 福島県森林組合連合会  
 福島県木材協同組合連合会  
 福島県緑化推進委員会  
 福島県農林種苗農業協同組合  
 福島県林業公社  
 森林総合研究所福島水源林整備事務所  
 福島県林業協会  
 (福島市中町五番一八号林業会館内)  
 渡辺卓  
 陽光社印刷株式会社  
 (定価 六三円)

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

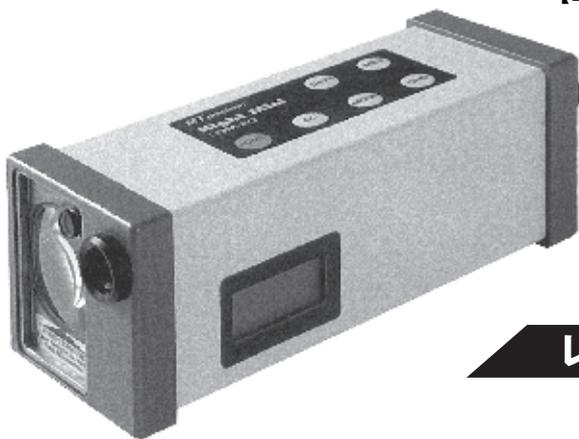


2. 堆積物等の山なり形状の場合



### 【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

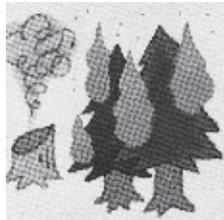
## レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

### 株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



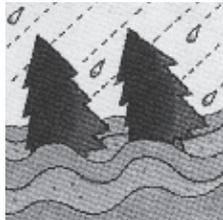
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



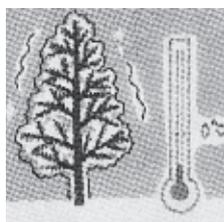
## 4 雪害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《ご相談・お申し込みは》

◆森林組合

◆森林組合連合会

福島県農林水産部森林整備課

☎ 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

## GP-35Vプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を迫及したプロセッサ



Simple Processor  
MODEL : GP-35V



- 高耐久性を迫及したフレームとトンク
- 大容量ソーモータの採用による優れた切断力
- カッタ押し付けはシンプルなスプリング式
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラブ作業
- 高速コンピュータ GP-7 による精度の高い安定した測尺
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク

ランニングコストに優れたシンプルプロセッサ

### 林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラブシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリーシリーズ



**イワフジ工業株式会社**

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7  
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!  
詳しくは当社ホームページをご覧ください [www.iwafuji.co.jp](http://www.iwafuji.co.jp)

Yashima  
豊かな緑を次代へ

# 自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

### 野生獣類から大切な 植樹木を守る

ツリーセーブ  
ヤシマレント

### 盗みされ防止

ハチノックL (網隠し)  
ハチノックS (携帯用)

### 大切な日本の松を守る ヤシマの林業薬剤

ヤシマミバイン乳剤  
ヤシマミバインMC  
グリーンガードエイト  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートSC  
マツグリーン液剤2

### くん蒸用生分解性シート

ちゅらシート (茶・白)  
NCSシート (透明)  
与作シート (茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリアバック使用)



ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F  
東北営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-10-3-202

TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164  
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

## 機器はゼノアから

排気量 **18.3cm<sup>3</sup>**

世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



**G2000T**

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)  
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm<sup>3</sup>**

さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



**G4211EZ** EZ+START

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)  
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを  
追求したハンドルと  
思いのアクセルワークが  
可能なトリガーレバー。



**BC2711DW1-EZ**

・防振ハンドルブラケット  
・トリガーレバータイプ  
チップソー ¥79,380(税込)  
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店  
**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1